

# ハワイアンズの秘密に迫る

# アロハ新聞

## 試練を乗り越えて

いわき市のスパリゾートハワイアンズは全国的に有名な温泉とハワイのテーマパークだ。その歴史は困難とチャレンジの連続だった。

常磐炭鉱があったいわき市に、1966 (昭和41) 年、常磐ハワイアンセンター (現在のスパリゾートハワイアンズ) がオープンした。施設を運営する常磐興

産の坂本征夫顧問によるとオープンの背景には1950年代のエネルギー革命があった。エネルギーの主役が石炭から石油にかわったため、炭鉱事業は危機におちいって

うと考えた。

この予測は見事に的中し、オープンから40年間で入場者5000万人、売上高3800億円、経済波及効果1兆6600億円を超す大きなリゾート施設に成長した。

2011年3月11日、千年に一度の大地震がハワイアンズを襲った。

坂本さんによるとその時、ホテルの宿泊者617人と多くの日帰り客がいた。しかし、役員は東京本社での取締役会のため不在だった。迅速な対応が不可欠だったため、役員たちは現場にいた若い社員を信頼し、避難誘導を任せた。



ハワイアンズの歴史を説明する坂本さん



常磐ハワイアンセンターを題材にした映画「フラガール」では、「フラガール」では、ヤシの木をストロブで温める場面がある。坂本さんによると、この話は本当だという。当時の社長が、ハワイアンセンターをハワイに見せるには、環境を作

## ヤシの木物語

本さんによると、この話は本当だという。当時の社長が、ハワイアンセンターをハワイに見せるには、環境を作

社員は、けんめいに帰還ルートを探し、13日には宿泊客全員を18台のバスで東京駅に送り届けた。

社員たちは、けんめいに帰還ルートを探し、13日には宿泊客全員を18台のバスで東京駅に送り届けた。

1カ月後の震度6弱の地震や原発事故の風評被害などで復旧の見通しがたらずにいたが、いわき、福島県の「安全・安心・元

「フラガール」の展示コーナー

「フラガール」の展示コーナー

「フラガール」の展示コーナー



フラガールのマカレア麻衣さん

## フラガールのマカレアさん

## 瞳輝くダンサー

スパリゾートハワイアンズの人気のひとつはフラガール。その一人、マカレア麻衣さんから話を聞いた。マカレアさんはフラガール歴13年、ソロ



- 東海林功多 (豊間中2年)
- 神田琉河 (泉中1年)
- 太田樹 (平二中1年)
- 志賀桜子 (内郷一中1年)
- 中原博史 (福島一小6年)
- 高崎和奏 (小玉小5年)

私たちが作りました